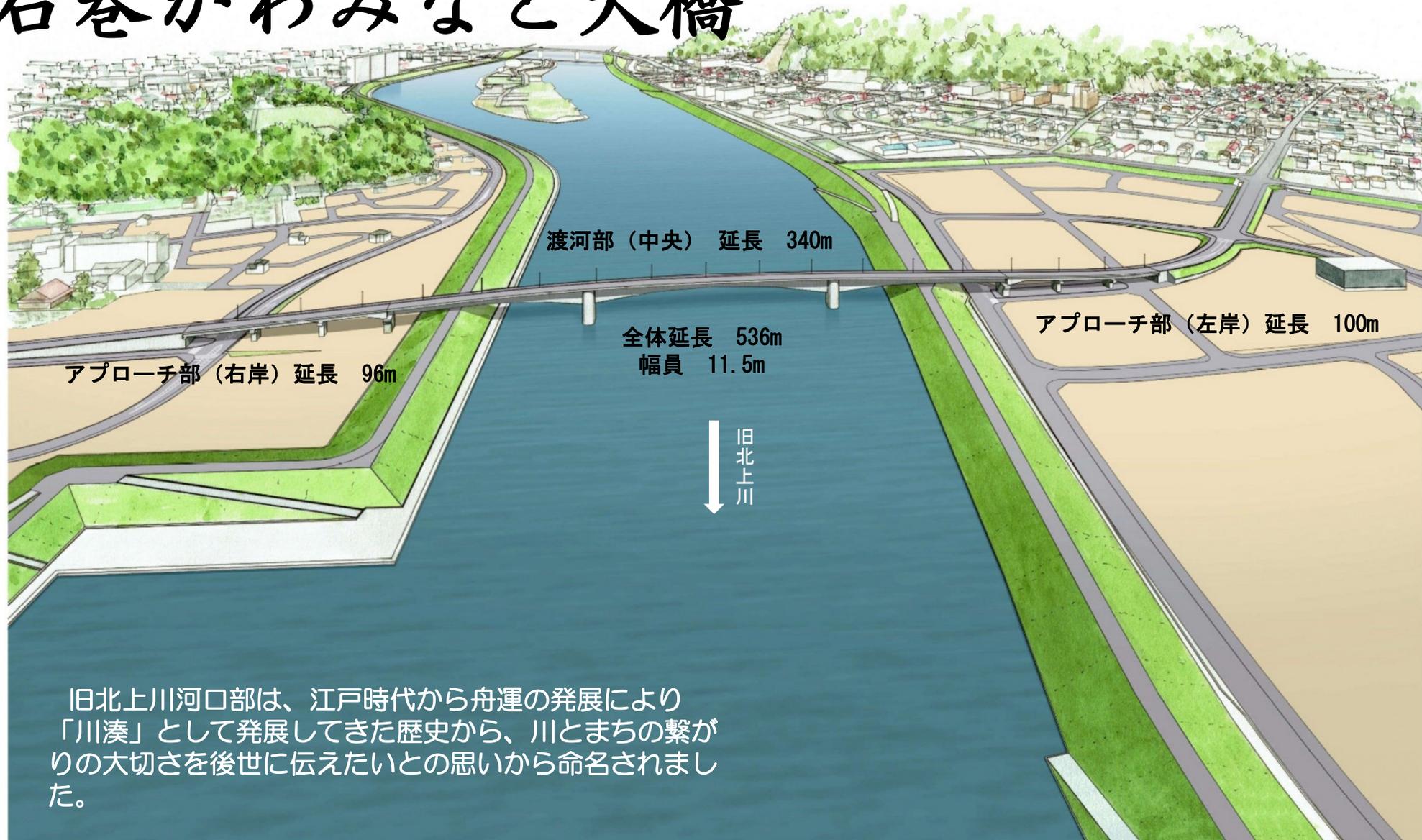


～旧北上川に架かる橋梁の名称～

石巻かわみなど大橋



旧北上川河口部は、江戸時代から舟運の発展により「川湊」として発展してきた歴史から、川とまちの繋がり大切さを後世に伝えたいとの思いから命名されました。

～中瀬地区に架かる左右岸橋梁の名称～

西中瀬橋

延長 82m 幅員 9.5m

内海橋
延長 202m 幅員 14.5m

三ヶ浜西
↓

東中瀬橋

延長 115m 幅員 4m

中瀬地区に新しく架橋されることから、旧名称との区別化を図り、「中瀬」という名称を橋梁に名付けたい思いから東西にそれぞれ命名されました。

～渡波地区から稲井地区につながるトンネルの名称～

渡波稲井トンネル

路線延長 3,513.3m
トンネル延長 698m 幅員 10.75m



渡波地区と稲井地区を結ぶトンネルであること、また、今後の両地域の発展を願い、災害時には避難道路として両地域を結ぶ重要な道路となることから命名されました。